



完成した巨大ホスピタルアート。磐田市大久保の市立総合病院

学生、職員制作 巨大アート彩る

磐田市立総合病院
静岡文化芸術大(浜松市中区)と磐田市立総合病院(同市大久保)はこのほど、院内を彩る巨大ホスピタルアートを制作した。学生と

・5畳ほどのトナカイを描いた。

同大の学生有志「ホスピタルアートプロジェクトしずおか」のメンバーと職員は、11月中旬から意見を出し合い、共同で作品を制作してきた。カラフルなテープ約700畳を使って作ったパーツを壁に貼り付けて完成させた。2年の岩倉柚奈さん(19)は「不安な気持ちを抱えて来院した人が、ほっとしたり、癒やしを感じたりしてくれたらうれしい」と話した。今後、季節に合わせて装飾を追加するという。

職員ら約50人が、1階ホールのガラス壁面にマスキングテープを使って、縦4・2畳、横5